

米国 ワシントン州産サクランボは量が豊富

The Packer 2023年6月2日

ワシントン州ウェナチー市を拠点とするステミルトグローブズ社 - マティソン家の家族経営による果実栽培、梱包、出荷業者 - は、今シーズン小売業者が販売促進できるだけの「かなり多い」量のサクランボを期待できるとしている。

同社の販売営業担当副社長であるマイク・テイラー氏はニュースリリースで、同社のワシントン州産サクランボの安定した供給により、7月の最盛期には販売促進のチャンスがあると見ていると述べた。2022年の収穫が今頃始まったのに比べると10日遅れるが、小売業者らがもう少し待てば、今シーズンは大きな成功を収められるだろうと同氏は言う。(以下「」は同氏の発言)

「今年はサクランボの量がかかなり多くなるので、素晴らしいシーズンになるはずだ。遅れているワシントン州産サクランボの出荷は、6月15日までには始まると見ている。これにより、売上はカレンダー上で後ろにずれ込むが、最終的には素晴らしい結果が得られるだろう。」

最近のサクランボ作

最近2年のサクランボ作は、記録的に寒い春から記録的に暑い夏まで、様々な天候の問題を経験した。その結果、生産量が減少し、品質が低下した。

リリースによると、今シーズンはカリフォルニア州産とワシントン州産の出荷の切れ目がなく、一貫した供給が行なわれる。これによって、小売業者はこれまでにない総売上高の成長を達成するチャンスを十分に得られる。

「私が小売業者に言える最善のアドバイスは、サクランボの品揃えを拡大し、どの週にも品物を切らさず、計画を立て、必要に応じて計画を調整し、販促を実施する場所を確保することである。出荷先に関係なく、7月4日(独立記念日)に向けた販促活動には前向きである。」

同氏は、ダークスイートチェリー、レーニア、スカイラーレイの各品種及び有機栽培のサクランボは、7月中ずっと販促できると言う。ステミルト社の晩生の「半マイル月に近いサクランボ*」は、9月初旬に収穫される。(※: 標高約800メートル(半マイル)以上で栽培されるサクランボの商標 A Half Mile Closer to the Moon® cherries)

衝動買い、価格、包装

7月のサクランボの販売促進のタイミングは、ステミルト社の「カイルズピック(Kyle's Pick)」ブランドとも一致する。リリースによると、最近再設計されたこのブランドは、その日に収穫され硬さと糖度の厳しい基準を満たしたサクランボを詰めたもので、人目を引くパッケージを特徴としている。

「サクランボは衝動買いするものであり、品質の良さはリピート購入を促進する。」リリースによると、カイルズピックは、品質と素晴らしい食体験のために厳選されたパッケージを小売業者に提供でき、7月の最盛期と8月の終盤におけるサクランボのリピート購入の場を整える。

同氏は、今年はより積極的なサクランボの出荷価格を予測していたが、それはこの品目の値崩れを引き起こさない範囲の価格である。リリースによると、供給量の増加と安定した出荷の組み合わせにより、小売店での総売上高の増加が期待される。

同氏は、主要な販促期間中にはキャッチウエイトバッグ(事前に袋詰めして重量を測り、袋ごとに重さと価格を表示したもの)が役立つと言う。また、トップシール型のパッケージと3ポンド(約1.4kg)入りクラムシェルパッケージは、定量販売やオンラインショッピングに適している。

「小売業者には、最盛期の絶好のタイミングに実施される7月11日の全国レーニアチェリーデーを活用することをお勧めする。」

執筆者: エイミー・ソウダー